

2004年(平成16年)3月期
決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社
2004年5月19日

 目 次

- ◆ 当期決算概況および来期業績見通し
- ◆ 中期経営計画「WIT21」初年度を終えて
- ◆ コーポレートガバナンス
- ◆ 海外事業トピックス
～ 当社の中国における事業展開～

当期の決算概況
2004年3月期

業績の概況(連結)

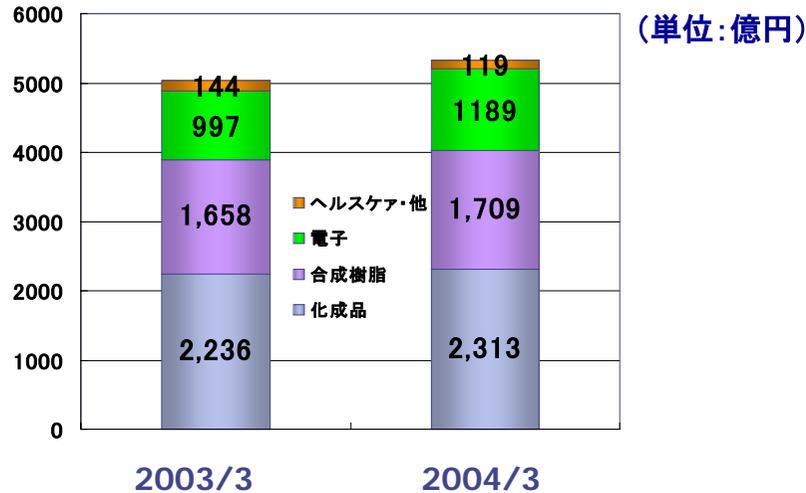
(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

| | 04/3 | 03/3 | 増減 | 前年比 | コメント |
|---------------|--------|--------|---------|------|--------------------------------------------------|
| 売上高 | 5,333 | 5,036 | +296 | 106% | 電子事業拡大 国内・海外ともに増加 |
| 売上総利益 | 534 | 518 | +15 | 103% | 売上増加による |
| 営業利益 | 102 | 84 | +18 | 121% | 売上総利益の増加 |
| 経常利益 | 131 | 112 | +18 | 116% | |
| 税引前当期 純利益 | 117 | 75 | +41 | 156% | 投資有価証券評価損の減少 +37億円 厚生年金基金代行部分返 上益 +33億円 |
| 当期純利益 | 70 | 41 | +28 | 167% | 退職給付会計の処理方法 の変更 特別利益 +42億円 特別損失 ▲82億円 |
| 1株当り 当期純利益 | 54円69銭 | 31円72銭 | +22円97銭 | 172% | |

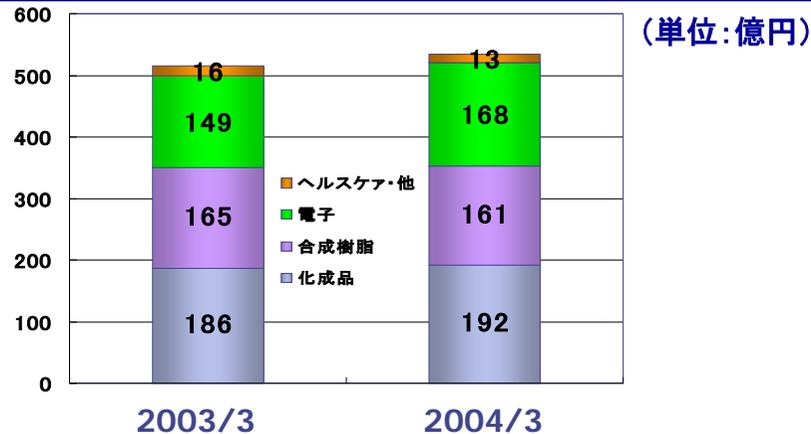
セグメント別の売上高と利益

(億円未満切捨て表示)

売上 5,333億円 前年比 296億円増加



売上総利益 534億円 前年比 15億円増加



セグメント別売上概況

化成品 + 77億円 (103%)

- 自動車関連ウレタン事業 中国合併2社
- 塗料関連 中国輸出、フルコンテナサービス

合成樹脂 + 51億円 (103%)

- 自動車関連北米、国内 購買代行
- 電子機器用途 新規部品ビジネス

電子 + 192億円 (119%)

- 液晶ディスプレイ関連大幅増(材料、部材)
- ナガセケムテックス製品(液状封止剤、剥離剤等)
- 川下展開(DVD関連コンシューマー製品)

ヘルスケア・他 ▲ 24億円 (83%)

- 化粧品・健康食品(販社化及び店舗販売)
- 放射線測定関連(機器スポット販売減)
- 試薬関連ビジネス 化成品事業へ統合

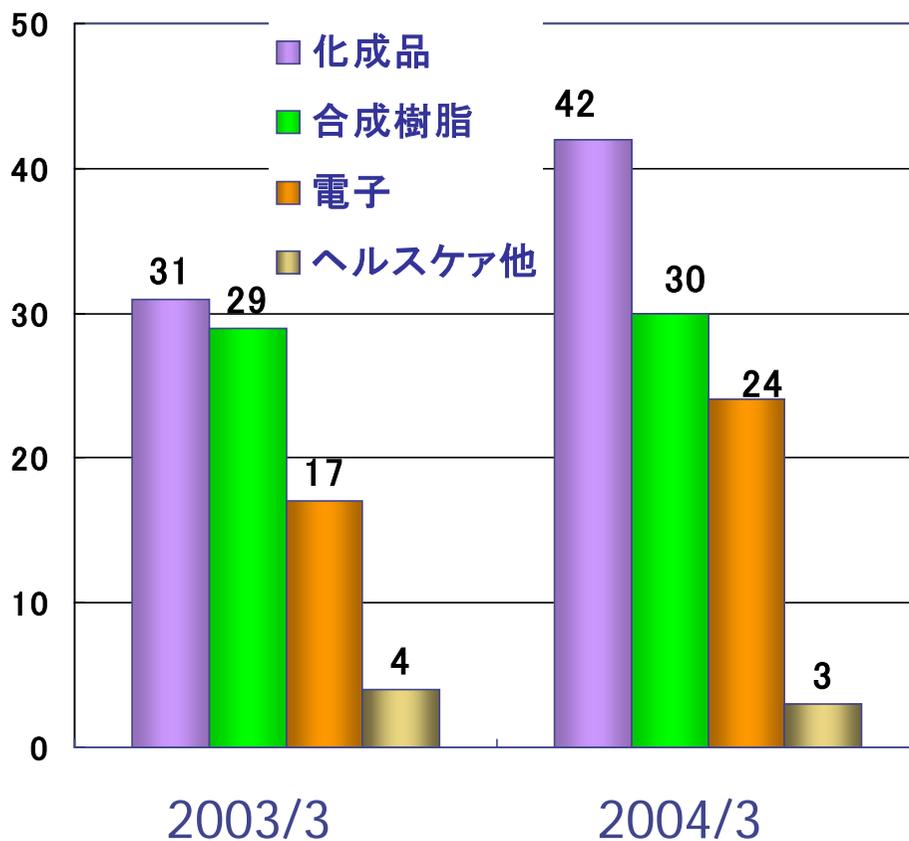
営業利益

(億円未満切捨て表示)

102億円 前年比121% 18億円増加

＜セグメント別営業利益＞

(単位:億円)

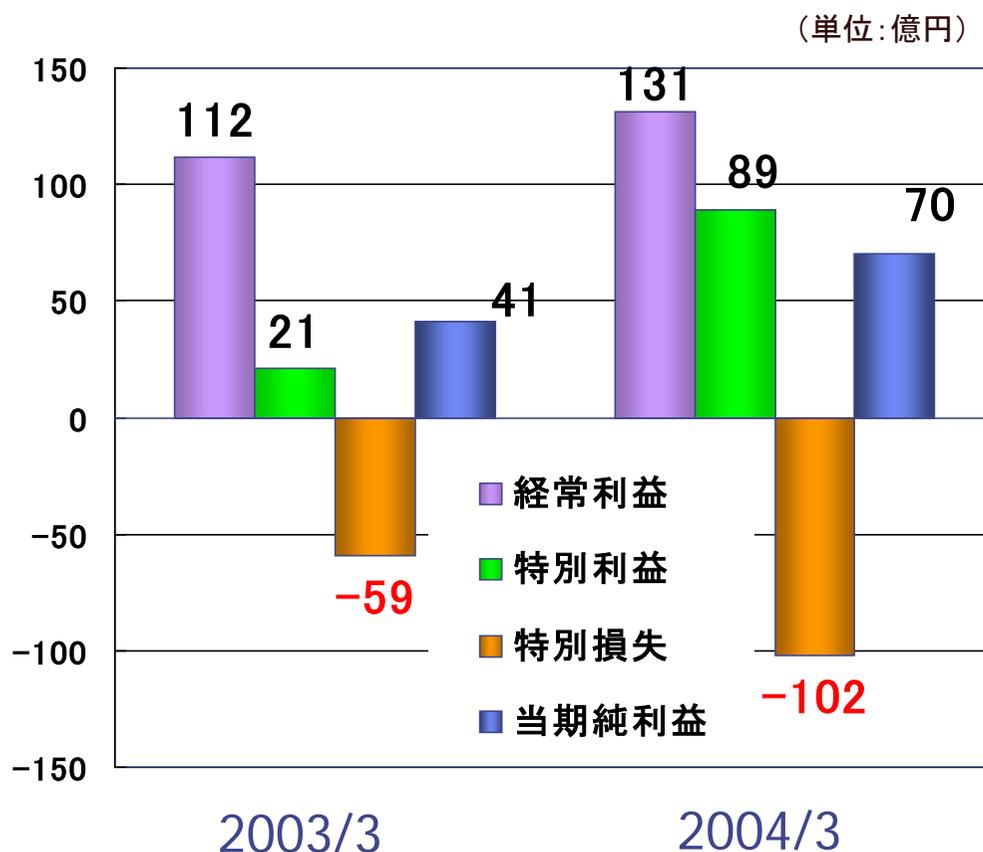
営業利益概況

- 化成品事業の営業利益改善
- 電子事業の売上増加
- 単体の営業利益10億円増
- 海外連結子会社の営業利益5億円増

経常利益・当期純利益

(億円未満切捨て表示)

経常利益 131億円 前年比 116% 18億円の増加



経常利益 131億円 +18億円

■ 営業利益 +18億円

特別利益 89億円 +67億円

■ 未認識過去勤務債務の償却 +42億円

■ 厚生年金基金代行部分返上益 +33億円

特別損失 ▲102億円 ▲43億円

■ 投資有価証券評価損の減少 +37億円

■ 未認識数理計算上の差異償却 ▲82億円

当期純利益 70億円 +28億円

主な貸借対照表の増減

① 投資有価証券の時価回復 ② 運転資金の増加

(単位: 億円)
(億円未満切捨て表示)

| 《資産》 | 04/3 | 03/3 | 増減 | 《負債及び資本》 | 04/3 | 03/3 | 増減 |
|-----------|-------|-------|------|-------------------|---------|---------|------|
| 現金及び預金 | 216 | 196 | +19 | 支払手形及び買掛金 | 990 | 959 | +30 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,592 | 1,508 | +83 | 短期借入金 | 76 | 80 | ▲4 |
| 棚卸資産 | 273 | 281 | ▲8 | 一年内償還予定社債 | 70 | — | +70 |
| その他流動資産 | 66 | 41 | +25 | その他流動負債 | 177 | 161 | +15 |
| 有形固定資産 | 269 | 260 | +9 | 社債 | — | 70 | ▲70 |
| 投資有価証券 | 633 | 490 | +142 | 長期借入金 | 17 | 15 | +2 |
| その他固定資産 | 56 | 68 | ▲12 | (有利子負債) | (164) | (165) | ▲1 |
| | | | | その他固定負債 | 172 | 110 | +61 |
| | | | | 少数株主持分 | 41 | 40 | +1 |
| | | | | 株主資本 | 1,562 | 1,409 | +152 |
| | | | | (株主資本比率) | (50.3%) | (49.5%) | |
| 資産合計 | 3,107 | 2,848 | +259 | 負債・少数株主持分 資本合計 | 3,107 | 2,848 | +259 |

キャッシュフローの状況

税前提利益増加

(単位:億円)

| | 04/3 | 備考 |
|----------------------|------|---------------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 64 | 税前提利益 117億円 運転資金 ▲42億円 退職給付引当金 ▲16億円 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | ▲16 | 有価証券売却/取得 26億円 設備投資 ▲30億円 短期貸付金 ▲17億円 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | ▲18 | 短期借入金 ▲11億円 配当金 ▲10億円 |
| 現金及び 現金同等物の期末残高 | 210 | 前年比19億円の増加 |

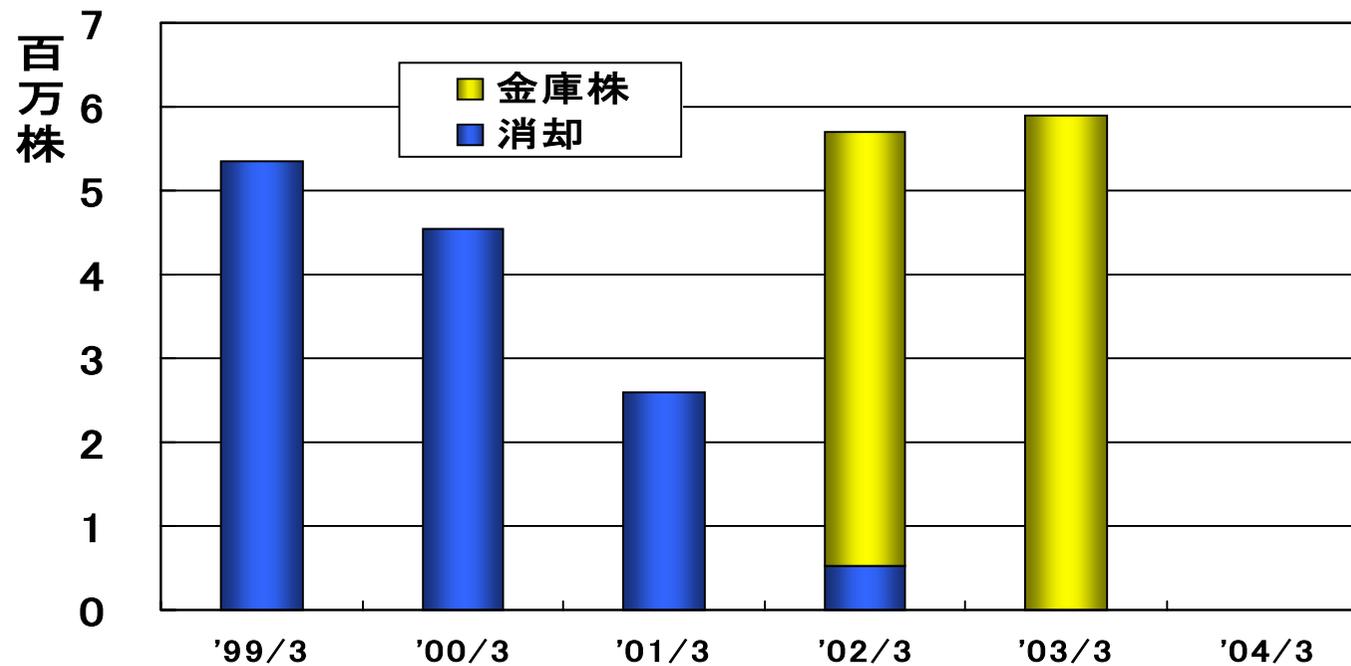
主な連結子会社の業績

(単位:百万円)

(百万円未満切捨て表示)

| | 社名 | 売上高 | 前年比 | 営業利益 | 前年比 | 当期利益 | 前年比 |
|------|-----------|---------|------|-------|------|-------|------|
| 単体 | 長瀬産業 | 433,817 | 104% | 4,217 | 133% | 5,373 | 477% |
| 製造会社 | ナガセケムテックス | 21,155 | 104% | 1,024 | 89% | 698 | 136% |
| | 東拓工業 | 7,084 | 105% | 516 | 143% | 555 | 36% |
| 販売会社 | ナガセプラスチック | 11,123 | 107% | 40 | 152% | 23 | 79% |
| | 報映産業 | 13,625 | 98% | ▲24 | 101% | ▲118 | — |
| | 長瀬カラーケミカル | 13,748 | 97% | 26 | 47% | ▲28 | — |
| 海外 | ナガセ香港 | 29,680 | 124% | 732 | 110% | 624 | 110% |
| | ナガセシンガポール | 31,034 | 96% | 454 | 107% | 26 | 7% |
| | ナガセタイランド | 14,736 | 88% | 567 | 94% | 477 | 105% |

自己株式取得の状況



| | 株式数(千株) | 金額(億円) |
|-----------------|---------|--------|
| 平成16年度自己株式取得実績 | 0 | 0 |
| 平成16年3月末現在所有金庫株 | 11,066 | 59 |
| ストックオプションに係る株式数 | 1,024 | 6 |

来期の業績見通し
2005年3月期

2005年3月期業績見通し

(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

| | 2005年3月期 (予想) | 2004年3月期 (実績) | 前年比 (%) | 増減 |
|-------|------------------|------------------|------------|------|
| 売上高 | 5,680 | 5,333 | 107% | +346 |
| 売上総利益 | 569 | 534 | 106% | +34 |
| 販管費 | 449 | 432 | 104% | +16 |
| 営業利益 | 120 | 102 | 117% | +17 |
| 営業外損益 | 22 | 28 | 77% | ▲6 |
| 経常利益 | 142 | 131 | 108% | +10 |
| 当期純利益 | 95 | 70 | 136% | +24 |

※ 為替レートは、1ドル105円として計算しております。

セグメント別の来期業績見通し

(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

| | 売上高 | | | 売上総利益 | | |
|---------|------------------|------------------|------------|------------------|------------------|------------|
| | 2005年3月期 (予想) | 2004年3月期 (実績) | 前年比 (%) | 2005年3月期 (予想) | 2004年3月期 (実績) | 前年比 (%) |
| 化成品 | 2,430 | 2,313 | 105% | 202 | 192 | 105% |
| 合成樹脂 | 1,770 | 1,709 | 104% | 166 | 161 | 103% |
| 電子 | 1,350 | 1,189 | 114% | 189 | 168 | 113% |
| ヘルスケア・他 | 130 | 119 | 109% | 12 | 13 | 90% |
| 合計 | 5,680 | 5,333 | 107% | 569 | 534 | 106% |

中期経営計画「WIT21」

初年度を終えて

W ---- *Wisdom*

I ---- *Intelligence*

T ---- *Technology*

知恵をビジネスにする技術・情報企業

「WIT21」基本戦略

- ① 顧客指向の徹底による差別化の推進
- ② マーケットリーダー事業の育成強化
- ③ グループ機能と独自性を生かしたビジネスの創造

「WIT21」重点戦略分野

エレクトロニクス

ライフサイエンス

自動車関連

海外事業

「WIT21」の数値目標と現況

10年後の姿

- ・ 連結営業利益 200億円
- ・ 売上高総利益率 15%
- ・ 資本コストを上回る収益の確保

中期計画

2006年3月期目標

- ・ 連結売上高 5,500億円 ← (2003年3月期 5,036億円)
- ・ 連結営業利益 110億円 ← (2003年3月期 84億円)

現在の状況

2004年3月期実績

- ・ 連結売上高 5,333億円
- ・ 連結営業利益 102億円

2005年3月期見通し

- ・ 連結売上高 5,680億円
- ・ 連結営業利益 120億円

前倒し達成に全力を挙げる

「WIT21」 重点戦略分野

エレクトロニクス

～2003年度

- ・ナガセファインケムシンガポール
- ・長瀬精細化工(無錫)
- ・華南地区での委託加工
- ・通信部品の販売
- ・最終消費財の販売

2004年度～

- ・長瀬国際電子
→組立・加工機能の拡充
- ・長瀬精細化工(無錫)
→製造能力拡大
→原料調達の現地化

ライフサイエンス

- ・キラル合成技術
- ・酵素技術
- ・小規模中間体製造設備
- ・天然抽出物の応用
- ・化粧品、健康食品
→訪問販売と店舗販売

- ・医薬中間体の受託合成
→体制整備
- ・創薬支援
→R&Dセンター
→大学等外部研究機関
- ・訪問、店舗販売シナジー
- ・ライフサイエンス事業推進室

自動車関連

- ・広州長瀬貿易
- ・ナガセプラスチックアメリカ
- ・デザインアントダイ(D&D)
- ・ハンガリー事務所
- ・天津長瀬国際貿易
- ・D&D(USA、天津)
- ・ウレタン事業での合弁2社
(広州、寧波)
- ・河西工業への出資

- ・中国等での機能拡充
→JIT対応、人民元決済
- ・アジアでの製造機能
→世界中への供給体制
- ・開発情報とのシナジー

2004年4月 新体制 （担当変更、くくりの変更）

フラット組織

- ・ 従来の4部門（化成品、合成樹脂、電子、ヘルスケア）を廃止
 - ・ 営業13事業部（支店、室）を並列にしたフラット組織
- 重点戦略分野（エレクトロニクス、ライフサイエンス、自動車、海外）を意識した協業体制（但し、セグメントの変更は行わない）

営業全般担当役員

- ・ 全体最適に向けた改革（部分最適の排除）
- ・ 業界志向（重点戦略分野の各業界）
- ・ 大型案件の戦略立案

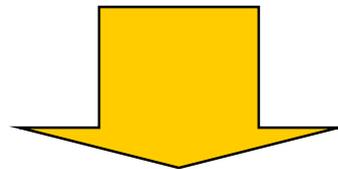
コーポレートガバナンス

株主・投資家への情報開示、透明な経営

監査役の機能強化、経営へのモニタリング

投資案件に対するリスクマネジメントの徹底

執行役員制度の定着、社外取締役の招聘



常に長期的・客観的な視点から経営を考える

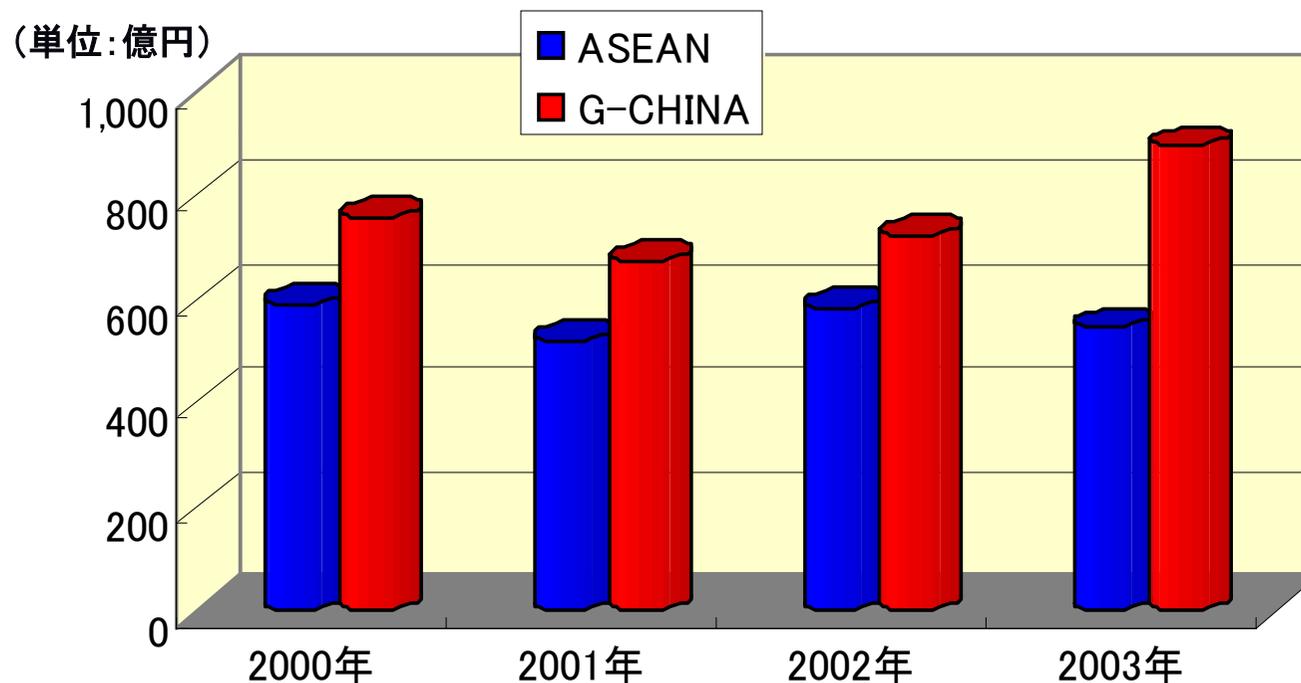
海外事業トピックス

当社の中国における事業展開

GREATER CHINA CEO

小澤執行役員

当社の東南アジア・中国・台湾地区販売状況

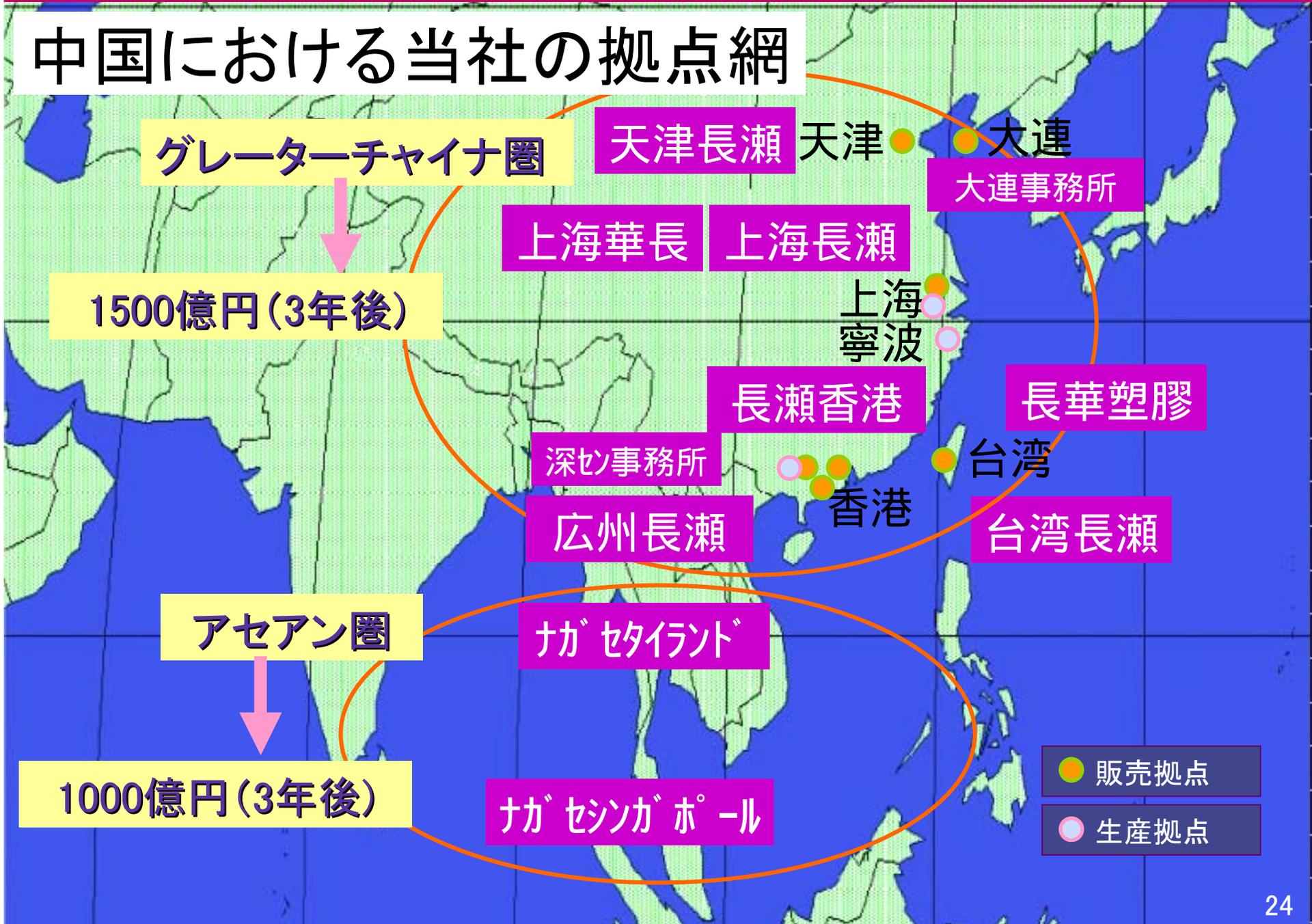


| 単位: 億円 | 2000年 | 2001年 | 2002年 | 2003年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| ASEAN | 592 | 519 | 582 | 546 |
| G-CHINA | 750 | 674 | 723 | 895 |

ASEAN : シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム

G-CHINA : 中国(含む香港)、台湾

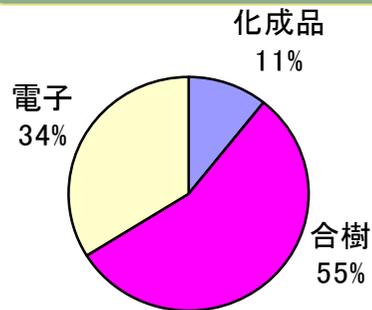
中国における当社の拠点網



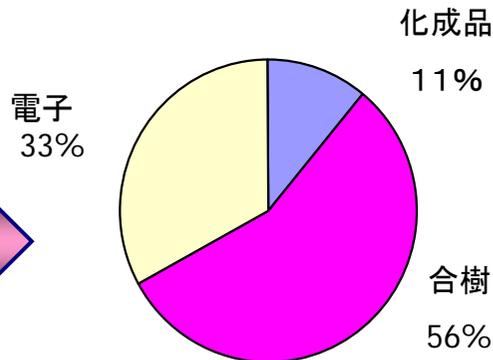
当社の中国ビジネスの概要

売上高規模

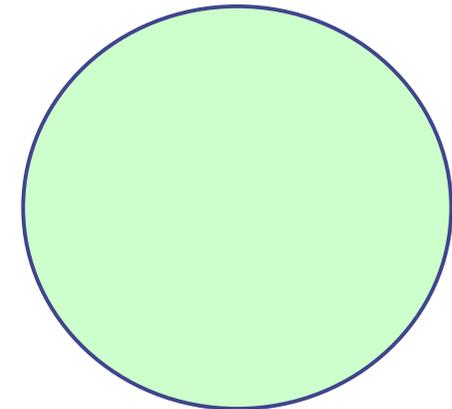
3年前: 750億円



現在: 895億円



3年後目標: 1,500億円



中国関連の沿革

- 1971年 2月 長瀬(香港)有限公司を設立
- 1978年 4月 長瀬資材販売台湾を設立
- 1988年 8月 台湾長瀬股 有限公司を設立
- 1990年12月 長華塑膠股 有限公司を設立
- 1997年 9月 上海長瀬貿易有限公司を設立
- 2002年 3月 広州長瀬貿易有限公司を設立
- 2003年10月 無錫に変性エポキシ工場が完成

事業対象企業

現地法人

- 長瀬(香港)*
- 台湾長瀬*
- 上海長瀬
- 長華塑膠*
- 上海華長
- 広州長瀬
- 長瀬天津

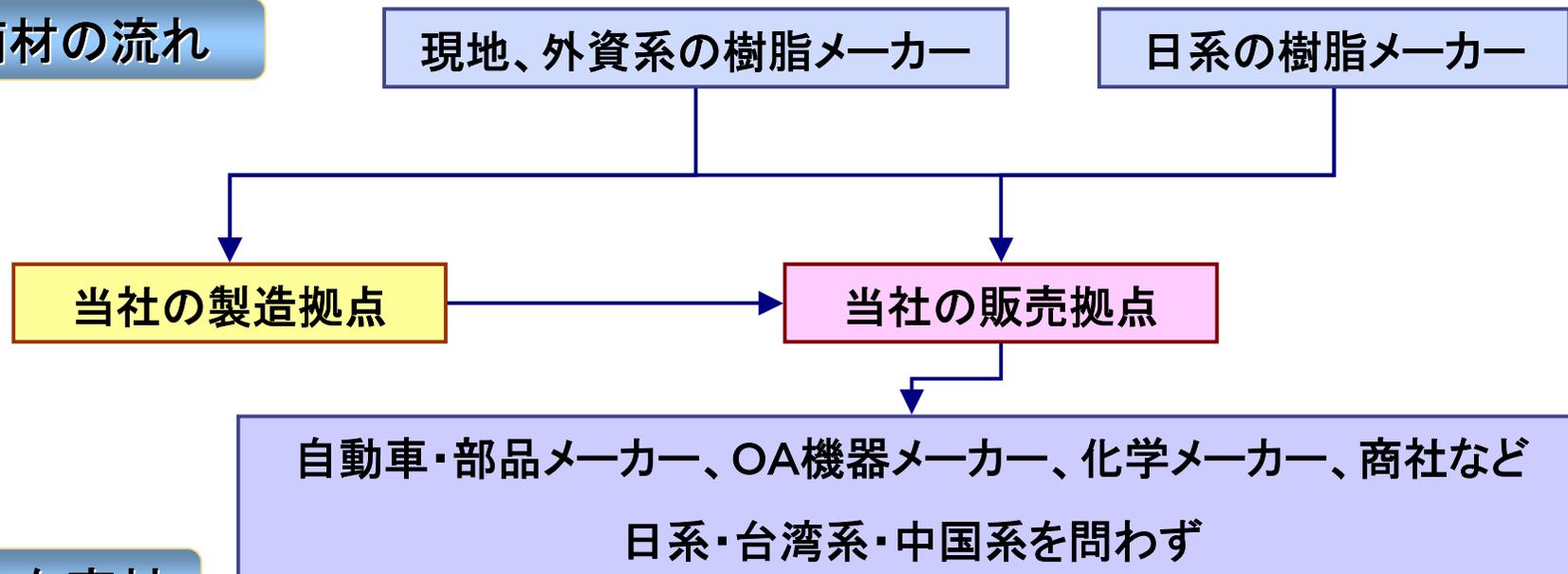
製造

- 長瀬精細化工(無錫)
- 長瀬国際電子(香港)
- 長瀬精密(上海)
- 広州倉敷(広州)
- 東洋佳嘉(寧波)
- 長瀬塑料製品設計(天津)
- 長瀬有色化学(上海)

* 03年連結対象企業

合成樹脂・化成品および自動車関連事業

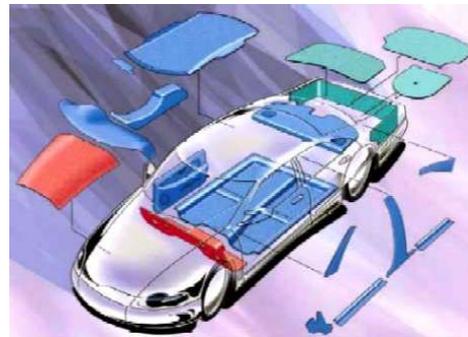
商材の流れ



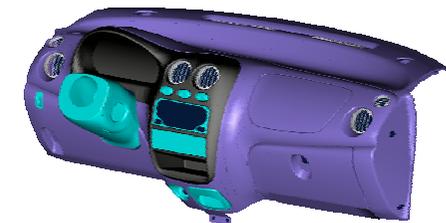
主な商材

- ◆ 合成樹脂(PP、PC、ナイロン、アクリル他)
- ◆ 副資材、包装材料
- ◆ 金型、部品設計
- ◆ 機械設備
- ◆ ソフトウェア

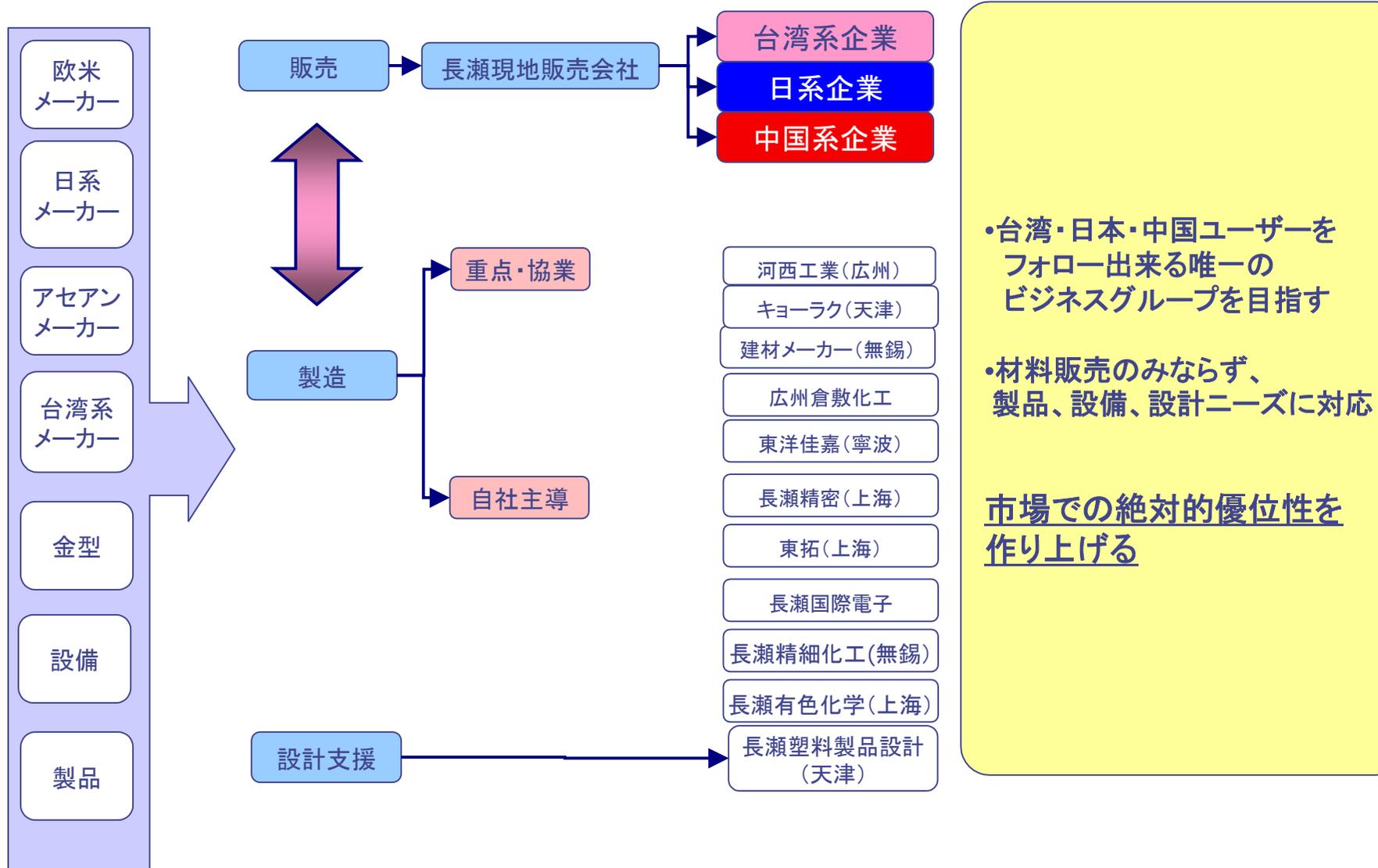
自動車樹脂部品(内・外装)



自動車樹脂部品
(インパネ)3D設計

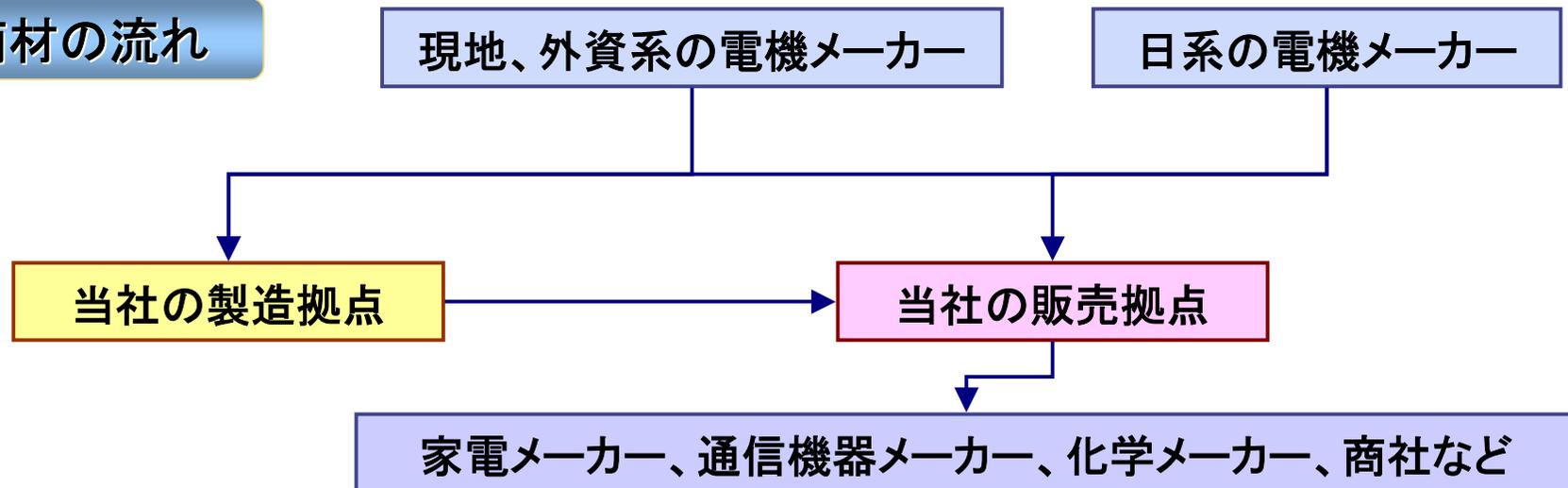


合成樹脂・化成品・電子の事業展開



エレクトロニクス関連事業

商材の流れ

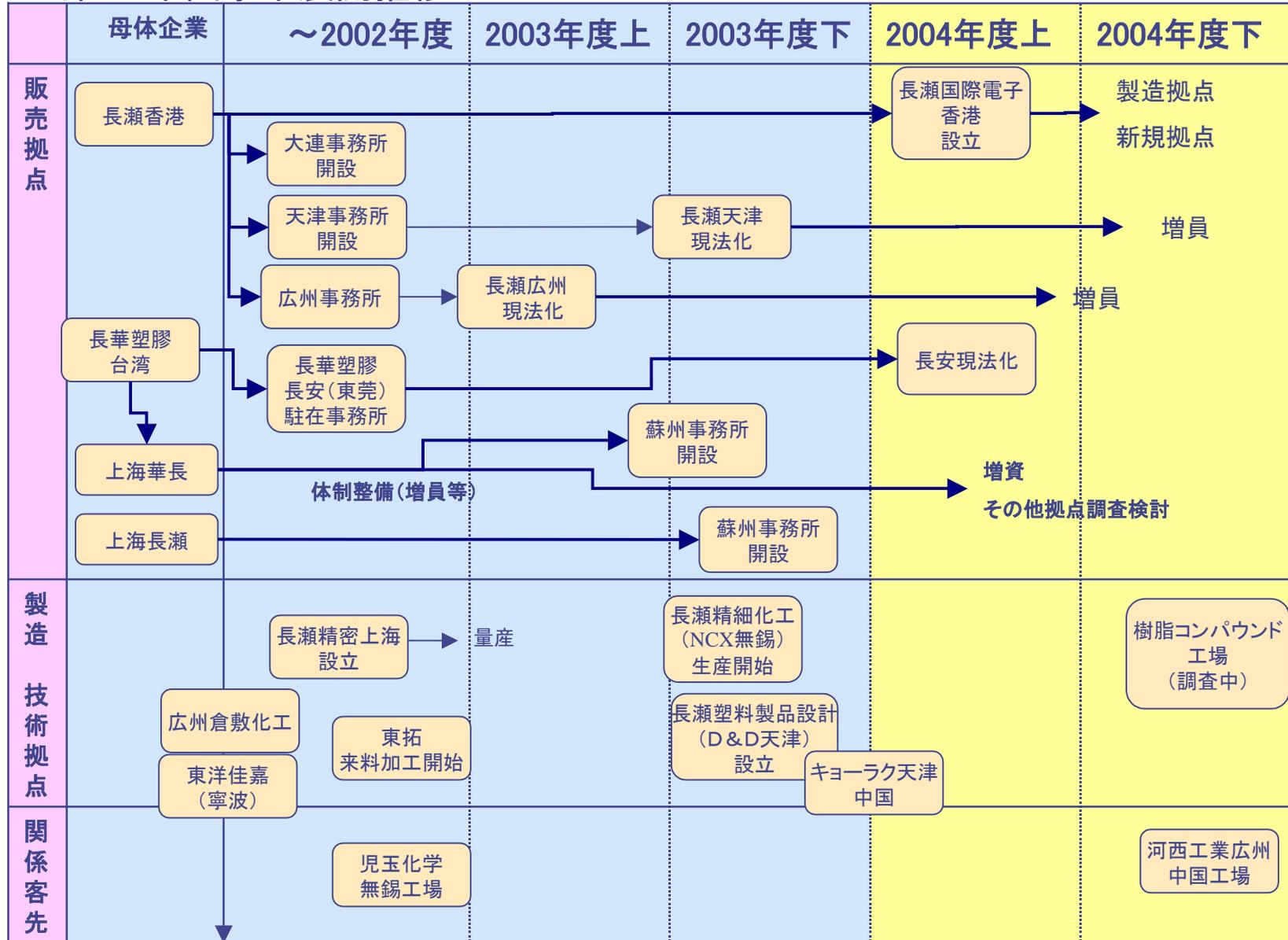


主な商材

- ・液晶用部材、半導体用部材
- ・ディスプレイ、画像処理装置
- ・通信用部品、IT関連デバイス
- ・DVD、コンシューマー用機器
- ・移動体通信基地局用パワーアンプ



当社の中国事業展開推移



中国ビジネスの強みとリスク

当社が持つ 特徴と強み

- ・長瀬産業全体としてのグループ力
- ・取引先とのつながり、香港や台湾での人脈
- ・化学(ケミカル)を通じて培った技術力
- ・トータルなソリューションを提供できる提案力
- ・日系と非日系との融合ーアセアンとのリンク

リスク、課題 と対応策

- ・中国経済の過熱、人民元の為替政策変更の可能性
- ・人民元建て決済の増加、確実な債権回収への備え
- ・中国一極集中の危険性、アセアンへのリスク分散
- ・他社との競争激化、当社の強みを活かしたビジネス創造
- ・貿易商社としての許認可取得

今後の中国ビジネスの戦略

中国経済の 見通し

- ・長期的に高度成長が続く可能性が高いとみられる。
- ・生産拠点としてだけでなく、大消費地としての魅力が増す。
- ・中国とアセアン諸国との関係はますます緊密化していく。
- ・規制緩和が進むと見られるが、人脈は引き続き重要である。

当社の戦略

- ・Local to Local のビジネス拡大に沿って、生産拠点および販売拠点を整備・拡充していく。
- ・リスクファクターを十分に勘案し、事業を拡大していく。
- ・当社の強みを活かし、ニッチな事業分野を開拓していく。

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社

当プレゼンテーション資料には、2004年5月19日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。